

# 第6章 施策と目標

## 推進テーマ：国際交流・国際協力

施策  
1

### グローバル人材の育成

#### ■現在の取組・未来へのビジョン・課題

本市では、青少年が世界に目を向け、コミュニケーション能力を高める機会として、学校では外国語指導助手(ALT)※が授業へ参加し、交流を行っています。また、様々なイベントを通し青少年が外国人と触れ合う機会を提供してきました。

今後は、異なる言語、文化、価値を乗り越えて関係を構築するためのコミュニケーション能力や協調性を持つ、グローバル人材の育成に向け、青少年が外国人と交流する機会を創出することで、自らが海外へチャレンジし、道を切りひらいていくための力を養う取組が必要となってきます。

また、豊かな国際感覚を持ち、世界で活躍できる青少年を育成するために、身近な国際化の情報に興味を持ち、国際的な視野を育んでいくことが必要です。

**将来像** 視野を世界に広げ、チャレンジ精神や多様性※を受け入れる力が身につきます。

**目標①** 外国人と交流し、世界へ目を向けよう

**目標②** 国際化の情報に関心を持とう

#### これまでの主な取組例

##### ① 外国人と交流し、世界へ目を向ける事業

事業名	担当課
青少年国際理解推進事業：リトルオースチン村	国際課
留学生生活用事業：おでかけENGLISH	国際課
日中友好交流都市中学生卓球交歓大会大分市選手団派遣事業	国際課
姉妹都市アベイロ市40周年記念事業	国際課
友好都市武漢市中学校交流事業	学校教育課
友好都市武漢市小学生受入事業	国際課、学校教育課
友好都市武漢市車いすマラソン選手受入事業	国際課
幼稚園、小学校、中学校ALT派遣事業	学校教育課
フィジー共和国との交流事業	東京オリンピック・パラリンピック推進局
公民館での各種交流事業	市民協働推進課

##### ② 国際化の情報に関心を持つための事業

事業名	担当課
大分市国際課公式Facebookページ事業	国際課

数値  
目標

外国人と交流する事業に参加した子どもの数：43,000人 (2024年度)

※外国語指導助手(ALT)

小学校、中学校における外国語等の授業や活動の補助を行う外国人。

※多様性

ここでは、多国の文化や習慣などの様々な違い。

施策  
2

## 国内外から人々を惹きつける魅力あふれるまちづくり

### ■現在の取組・未来へのビジョン・課題

2019年のラグビーワールドカップ2019™日本大会では、大分市は準々決勝2試合を含む5試合が実施され、欧米を中心に多くの外国人観光客が訪れました。これを機に本市の伝統文化の紹介やボランティア等によるおもてなしにより、大分市のファンを増やすことができました。また、多くの市民にとっても言葉を超えて一緒になって盛り上がったこの経験が、忘れがたいレガシーとして残りました。

今後も本市の持つ豊かな自然や歴史、文化、観光資源など、多様な魅力をすべての市民で共有するとともに、様々な形で国内外に発信することで、人々を惹きつけ、訪れた人が満足、感動できるまちづくりを目指します。

**将来像** 本市の魅力を国内外に発信し、国内外の人々から活力を取り込むことで、まちの活性化につながります。

**目標①** 国際色をプラスし「まち」ににぎわいをつくろう

**目標②** 海外からの観光客を「おもてなし」し、大分市のファンを増やそう

### これまでの主な取組例

#### ① 国際色をプラスし「まち」ににぎわいをつくる事業

事業名	担当課
おおいた国際協力啓発月間事業	国際課
武漢市・オースチン市ミュージシャン「おおいた夢色音楽祭」招へい事業	国際課
姉妹都市オースチン市マラソン交流事業	国際課
おおいたワールドフェスタ	国際課
国際化・国際交流イベント支援事業	国際課
姉妹都市アベイロ市提携40周年記念事業	国際課
武漢市友好都市締結40周年記念事業	国際課
「第33回国民文化祭・おおいた2018、第18回全国障害者芸術・文化祭・おおいた大会」大分市関連事業	国際課ほか
ラグビーワールドカップ2019™日本大会関連事業	東京オリンピック・パラリンピック推進局ほか
フィジー共和国文化交流事業	東京オリンピック・パラリンピック推進局ほか
大分国際車いすマラソン事業	障害福祉課
共生社会ホストタウンイベント「スイスフェア」	障害福祉課
「商都復活支援事業」を活用したイベント支援事業	商工労政課
別府アルゲリッチ音楽祭	文化振興課

#### ② 国内外からの訪問者を「おもてなし」し大分市のファンを増やす事業

事業名	担当課
無料公衆Wi-Fiスポットの拡大	情報政策課
ラグビーワールドカップ大分開催で設置する交流スペース「ファンゾーン」の設置	東京オリンピック・パラリンピック推進局
パンフレット、案内標識等の多言語化	観光課ほか
国内外における大分市のプロモーション	おおいた魅力発信局ほか

数値  
目標

姉妹友好都市をはじめとした海外都市との交流件数：100件

(2021～2024年度の累積)

施策  
3

## 地域の産業の活性化につながる国際ビジネスの推進

### ■現在の取組・未来へのビジョン・課題

大分市はポルトガルアベイロ市、米国オースチン市、中国武漢市と、長年にわたり姉妹友好都市の関係にあります。この関係を活かし、これまで中国武漢市への進出のサポートなど、世界各地へ進出しようとする中小企業を後押ししてきました。

今後も、姉妹友好都市をはじめとした海外への新たな販路拡大にチャレンジする企業に対し、ジェトロ等の支援機関と連携し、商談会や交流会、展示会を実施する等のサポートを行うことで、海外への販路開拓を目指す企業を支援し、海外の成長市場を取り込むことで地域の産業を活性化して、まちの活性化へとつなげます。

#### 将来像

大分市が誇る産品などの地域資源や多種多様な観光資源などを世界に向けて発信することで、地域経済活性化につながります。

#### 目標①

### 海外ビジネスにチャレンジしよう

#### これまでの主な取組例

##### ① 海外ビジネスへのチャレンジへのサポート事業

事業名	担当課
海外向け販路拡大商談会の開催	創業経営支援課
姉妹友好都市へのビジネス展開のサポート	創業経営支援課
展示会等への参加に対する支援	創業経営支援課

#### 数値 目標

### 海外展開支援件数：200件 (2020～2024年度の累積)

※「大分市総合計画第2次基本計画(2020～2024年)」目標値 目標値の年限は、大分市総合計画に準じます

施策  
4

## 持続可能な世界の実現のための国際協力・国際貢献の推進

### ■現在の取組・未来へのビジョン・課題

グローバル化の進展により、世界で起こる出来事がわたしたちの日々の生活に大きな影響を与えている中で、国際社会の一員として、国際社会の平和と安定、発展のため、世界で起きている貧困や環境破壊等の人類共通の課題を解決していくことが求められており、2015年9月の国連サミットにおいて採択されたSDGs(持続可能な開発目標)<sup>\*</sup>の達成に向け、世界各国が協力し積極的に取り組むことが求められています。

本市においても、友好都市中国武漢市との間で環境分野における協力・交流事業を展開するなど、さまざまな分野において本市が持つ技術やノウハウを活用しながら、国際協力を推進しています。また、国際関係団体、機関等と連携し、市民レベルにおける国際協力の活発化に向けた取組も行っています。

このような国際協力は、本市が世界に誇れる世界的プレゼンスとして、地域の魅力の再発見や郷土の誇りへとつながり、新たな地域活動の道が開け、異文化理解・多文化共生の意識が育まれるなど、さらなる地域活性化や、国際性を持つまちづくりに発展する可能性も秘めています。また、一方的な支援だけでなく、双方が経験を分かち合い、メリットを得られる“win-win”の効果をもたらす国際協力は、本市の持続的な発展につながっていくこととなります。

今後も、様々な主体とともに、国際協力や都市間連携などを通して、本市が国際社会の一員としての役割を果たしていくことが必要です。

#### 将来像

国際協力・国際貢献活動に取り組むことで、持続的な世界の平和・発展につながるるとともに、本市の魅力の発信や様々な分野における発展につながり、ひいては地域の発展へとつながります。

#### 目標①

身近でできる「国際協力」から始めてみよう

#### これまでの主な取組例

##### ① 国際協力推進事業

事業名	担当課
おおいた国際協力啓発月間事業	国際課
JICA青年海外協力隊派遣事業	国際課
友好都市武漢市との大気環境改善事業	環境対策課
友好都市武漢市とのごみ分別・減量促進事業	環境対策課
友好都市武漢市との水質環境改善事業	環境対策課
消防車コンゴ共和国寄贈、技術指導(「草の根・人間の安全保障無償資金協力」寄贈事業)	消防局
日本・タイ知識交流セミナー(ごみ減量支援)	ごみ減量推進課

#### 数値目標

国際関係団体や市民への国際協力事業サポート件数: 35件

(2021~2024年度平均値)

#### ※SDGs(持続可能な開発目標)

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っている。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいる。

## 推進テーマ：多文化共生

施策  
5

## 人権尊重を基調とした多文化理解の促進

## ■現在の取組・未来へのビジョン・課題

わが国では、超高齢社会、人口減少社会を迎えたことにより、地域においてコミュニティ機能の低下が社会問題となっている一方、日本に住む外国人数は年々増加しており、今後は外国人市民も地域社会の役割を担うことが期待されています。

このような中、文化や習慣などの異なる人々が、お互いの違いを理解し、対等な関係を築きながら地域社会の構成員としてともに暮らしていくためには、多文化理解によるまちづくりが必要です。

また、多文化理解は、本市に居住するすべての人々にとっても暮らしやすいまちにつながるだけでなく、本市の持続的な発展や、本市を訪れる外国人観光客等の満足度を高めることにもつながります。

本市ではこれまで、様々な国の文化や習慣に気軽に触れることができるイベントや、留学生との交流事業、公民館等での外国の料理教室や多文化理解講座などを行ってきました。今後も、市民の多文化理解の促進につながる事業を実施します。

**将来像** 市民が多文化理解に関する知識と認識を深め、人権尊重を基調とした差別をしない、させない多文化共生社会が実現します。

目標① 国際化・多文化共生イベントに参加しよう

## これまでの主な取組例

## ① 国際化・多文化共生イベント事業

事業名	担当課
おおいたワールドフェスタ	国際課
おおいた国際協力啓発月間事業	国際課
多文化共生出張講座	国際課
国際化・国際交流イベント支援事業	国際課
[第33回国民文化祭・おおいた2018、第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会]大分市関連事業	国際課ほか
各公民館で実施する国際化・多文化共生関連イベント	市民協働推進課
ラグビーワールドカップ2019™日本大会関連事業	東京オリンピック・パラリンピック推進局ほか

数値  
目標

国際化・多文化共生イベントへの参加者数：38,000人 (2020～2024年度平均値)

※ [大分市総合計画第2次基本計画(2020～2024年)] 目標値 目標値の年限は、大分市総合計画に準じます

施策  
6

## あらゆる国籍の人々がともに活躍できる環境づくり

### ■現在の取組・未来へのビジョン・課題

2020年12月末現在、本市には3,484人の外国人が在住しています。市内総人口に占める外国人の割合は、全国と比較して高くはありませんが、国の動向からも近い将来、外国人の増加が予想され、言語、文化、生活習慣、制度等の違いから、新たな地域課題が生じることも考えられます。

また、外国人も日本人と同様に、生活期間が長くなるにつれて単身者から家族へ、結婚・出生から子供の育児・保育・教育へ、労働者から起業家へなど、地域における役割も変容していきます。その際に、日本人社会と断絶された別社会ではなく、共存共栄の関係をつくる必要があります。そのためには、外国にルーツを持つ人々も地域で活躍できる環境を整備することで、積極的に外国にルーツを持つ人々の地域社会への参加を促すなど、地域全体のあり方を見据えた新しい地域社会のシステムづくりが必要となってきます。

このようなことから、今後も多様な人々がともに活躍できるよう、外国にルーツを持つ人々にとっても暮らしやすい環境づくりを進めるとともに、市民や関係団体との連携により、多様性を尊重し、ともに支え合う意識の醸成を行うことが必要です。

#### 将来像

あらゆる国籍の人々がともに地域を支え、それぞれの持てる力を最大限発揮することで、だれもがふるさとと思えるまちになり、地域の持続的な発展につながります。

#### 目標①

外国にルーツを持つ人々も暮らしやすいまちにしよう

#### これまでの主な取組例

##### ① 外国にルーツを持つ人々も暮らしやすい環境づくりのための事業

事業名	担当課
外国人来庁者への多言語対応	国際課ほか
留学生向け生活オリエンテーション	国際課ほか
技能実習生に対する生活オリエンテーション	国際課ほか
留学生向けごみ分別指導・啓発の講習会	ごみ減量推進課
外国人市民への住宅防火推進事業	消防局警防課

#### 数値 目標

多言語による大分市からの情報発信件数：200件

(2021～2024年度の累積)